

yamaguchi
Fujikai
ふじんかい

山口県連合婦人会 会報

2023.3

Vol. 68

発行／山口県連合婦人会



山口市湯田温泉5丁目1番1号
カリエンテ山口内

(山口県婦人教育文化会館)

Tel 083-925-7345 Fax 083-928-7346

e-mail:yamakenfu@ray.ocn.ne.jp

<http://www.y-caliente.jp/fujinkai/index.html>



国宝 瑠璃光寺五重の塔



大内弘世公の像

特集 Withコロナの婦人会活動 P3~6

あいさつ P2

秋吉台に魅せられて P7

フィルムレポート P8

ごあいさつ



山口県連合婦人会
会長 藤家幸子

新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから四年目になり、ついにウイズコロナの時代となりました。

会員の皆様におかれましては、マスク生活は常識となりご自身の対策にもしつかり万全を期しておられることと存じます。

昨年、山口市で開催された「県地域婦人会リーダー相互研修会」では、コロナの時代だからこそ人権の基本である偏見の見方で感染者を差別することなく、「誰も一人にしないよ」という社会のあり方をご講演いただいた林裕子先生の「ダイバーシティ」と「インクルージョン」の豊かな社会をーがそのまますと理解できました。時代を見据えた内容で大変すばらしくこれからの社会生活のあり方に方向性を示唆していただきました。

改めて地域における婦人会活動が人との関わりを大切に、信頼関係を構築した上での活動であることを誇らしくも思えました。

コロナ禍にあっても、全国女性団体連絡協議

会や県連合婦人会事業は、徹底した対策を講じて丁寧な活動してきました。

また、感染症では結核予防に対して、パネル展示による募金活動も毎年各市町で開催し、県民のだれもが理解と協力を賛同していただけるよう啓発活動を行い、中央講習会では会員の資質向上のためオンライン研修への参加も積極的に取り組んできました。

今年のリーダー相互研修会は、山口県連合婦人会創立七〇周年記念大会とし、山口県出身の元NHKアナウンサー山本哲也さんに「小さな旅から見えてきた日本」と題してご講演をいただきます。

会員の皆様のご理解ご協力のもと、心に残る大会となるよう取り組んでまいります。



山口県教育委員会
教育長 繁吉 健志様

春色なごやかな季節となりましたが、山口県連合婦人会の皆様には、ますます御活躍のこととお喜び申し上げます。

皆様におかれましては、平素から男女共同参画社会の実現や教育・子育て支援など、地域に根ざした社会貢献活動に幅広く取り組まれますこと、地域振興の一翼を担っていただいておりますこと、対しまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、少子化の進行や急速な技術革新、グロ-

バル化の進展など、急激に変化する時代において、教育には、本県の将来を担い、未来を切り拓いていく子どもたち一人ひとりが、自分の良さや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら、困難な課題に挑戦し、乗り越えていく力を育成することが求められています。

このため、新たに策定した県の総合計画「やまぐち未来維新プラン」において、「新たな時代の人づくり推進プロジェクト」を掲げ、本県の強みを活かしながら、教育活動の一層の充実・発展に取り組むこととしています。

具体的には、コロナ禍においていち早く導入した1人1台タブレット端末等のICT環境を活用し、本県が取り組んできた「やまぐちスマートスクール構想」をさらに推進してまいります。

また、全ての公立学校に導入したコミュニケーション・スクールを核として、子どもも大人も学び合い育ち合う機会を創出するなど、コロナ禍により希薄化した学校と地域のつながりを取り戻し、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組を進めてまいります。

皆様におかれましては、本県の教育目標である「未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成」に向け、長年にわたり各地域で展開されている様々な活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって取り組む教育活動の推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、山口県連合婦人会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝、御活躍をお祈りし、御挨拶いたします。

日本では人口減少が進み、慢性的な人材不足なので、人種・年齢・ジェンダー・障がい等にとらわれないダイバーシティを推進する必要があります。



開会行事

十一月十六日、山口県総合保健会館で、令和四年度地域婦人会リーダー相互研修会が開催され、開会行事後、林裕子山口大学大学院教授の講演があり、「ダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（包摂性）のある豊かな社会」について研修しました。

下松市連合婦人会 古田尊子

地域婦人会リーダー相互研修会

With コロナ の婦人会活動

コロナ感染症から丸3年
私たちの活動も少しずつ
戻りつつあります



講師 林 裕子様

企業はグローバル化し、優秀な人材の育成や登録が加速化している中で互いの個性・価値観・能力を認め、発揮できる場は拡大する可能性があります。

個人としては、

無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）「男性優位」の偏見を持ちがちだが、情報通信技術（ICT）の発達でこれからの社会は性別・年齢・国籍を気にすることなく働ける職場が増え、一人一人の多様な幸せが実現できる希望が湧きました。

次に「複十字シル運動と国際協力について」公益財団法人結核予防会国際部付 小野崎郁史部長がリモートで、募金が世界中でどの様に活用されているのか、協力の様子を映像と説明、結核が過去の病気ではない事を再認識しました。

ロビーでは複十字シル運動パネル展やウクライナ支援のバザーも開催され、午前中の行事ではありましたが内容は充実していました。

今後、婦人会組織がさらに結束して活躍できる場を見いだせる事を期待して、冒頭講演金子みすゞの「みんなちがってみんないい」からはじまった研修会から共に益を得て帰路に着きました。

全国女性団体連絡協議会

中国ブロック会議

柳井市連合婦人会 嬉 静恵

十月七日に米子コンベンションセンターで一〇九名の参加のもと開催されました。

最初に「これからの婦人会の思い」と題し全国女性団体協議会櫻井会長の講話が始まりました。婦人会員は社会教育の達人。自分が豊かでない人と与えられない。婦人会を中心に人を引き付けるような活動をと、厳しく熱意あるエールを頂きました。

基調講演は「食品ロス問題を考える」環境の未来は一人一人の行動から」と題して東京農業大学副学長上岡美保様からでした。

食品ロスの半分は家庭から発生する。要因は直接廃棄・食べ残しなどで目の前の食品ロスを出来る限り減らす、過剰食品は廃棄せずフードバンク等に寄付する。買物も見直すなど一人一人が食の循環・環境を意識した消費行動などを理解し次世代に伝える事で良い方向に向かうのではないのでしょうか。

最後に各県ひと言メッセージで会長さんから活動状況の報告がありました。

研修を通し、婦人会活動への意欲が高まる貴重な時間となりました。



各県会長ひとことメッセージ

地域の婦人会活動

ふるさとの青く輝く海を残すために

大島郡連合婦人会



漂着ごみの回収

瀬戸内海に四方を囲まれ、日本最大級のニホンアワサンゴ群生地を持つ周防大島町。そこに住んでいる私たちは海ごみゼロに向けて行動をしています。青く輝く海、白い砂浜、真っ青な空、そしてヤシの木、若者集う最高の場所にもなりそうではありませんか。さて、そこにも悩み事はあるものです。

海のごみも海だけの問題ではなく、陸から流れ出たものもありましょう。プラごみ、ビン、缶、金属、ペットボトル、挙げればきりがありません。

「ごみ」って何なのかと思うことがあるのです。「ごみ」って人間の心なのかとも、心無い人のいたずらなのか！それにしても周防大島町は、ごみ分別収集に於いては、どの市町村に比べても一歩前進していると私は思っています。それなのに、どこから

ともなく「♪名も知らぬ遠き島より・・・♪」来るのでしょうか、海岸に漂着しているのです。

この難題、そう簡単に取り組めるものではありませんが、時あるごとに漂着ごみを回収し、昨年大島に設置された「B & G 拾い箱」に入れ、海洋ごみの削減に取り組みたいです。

町民一人ひとりが心を一つにして、ごみ分別を徹底して出していただくことを呼びかけ、かけがえのないふるさと周防大島町のあの青く輝く海を、子や孫たちに残していくことが、今を生きる私たちの責務だと思っています。

高齢者世帯を訪問して

柳井市連合婦人会

コロナ禍の中、昨年度より高齢者訪問を実施。お話のきっかけに小物を持参しようと協議。自宅で遊んでいる布・糸を持ち寄り、理事会終了後、編物・縫物の得意な方の指導で作品作りをしました。

この時間会員の交流もあり有意義でした。訪問先は主に外出が思うに出来ない独居の方を選定。持参した手作りのお土産を大変喜ばれ会話も弾み、こちらの方が元気を頂きました。

今後もこの活動を広げたいと会員一同で話しています。



手作りアームカバー

高齢者交通安全教室

宇部市婦人会協議会

高齢者交通安全教室を40名の参加で開催いたしました。

宇部警察署に色々な講習会をお願いすると、必ず手品を披露して下さる女性警察官がおられます。今まで何回もお世話になりました。

今回は中国芸能の変面も披露していただきました。今年で定年退職されるとのことで、今回が最後の教室を婦人会員と共に開催できて嬉しく思いますと言われましたので、これからは是非、地域の皆さんとボランティア活動でご活躍くださいとお願いいたしました。

パトカー・白バイ隊員の実例を交えた話や、高齢者運転免許更新認知機能テストの説明も受け、婦人会員の皆さんも熱心に質問され、時間が足りないくらい充実した教室でした。



変面でうそ電話詐欺の啓発

山口県警察音楽隊を招いて

岩国市連合婦人会岩国支部



令和4年11月17日恒例の文化祭を開催しました。コロナを心配しながらも万全を期して、名前、電話番号と体温を記入して頂きました。

岩国警察署の「ふり込め詐欺」の講話を聞き良い勉強させて頂きました。

音楽隊は総勢25人でその中にカラーガードの女性が5人おられました。昔懐かしい曲に合わせてカラーガードの演技がとてもステキでした。生演奏を聴くことの少ないこの時期感動しました。



あかるい方へ

～みんなの笑顔～



「元島民の北方領土を語る会」

山陽小野田市連合女性会

10月25日山陽小野田市民館で会員80名が集い開催しました。初めに元島民の語り部児玉泰子様の「故郷北方領土に思いを寄せて」、続いて後継者語り部山下孝子様「先人達の息吹を感じる四島の想い」という演題で講演を聞きました。



元島民語り部 児玉泰子様

参加者はこれまで聞いたことのない当時の四島の状況に聞き入り、その後の意見交換会ではたくさんの質問が出て時間が足りないくらいでした。

児玉様の話にも熱が入り素晴らしい時間でした。

元島民は「早期一括返還」の実現の日まで領土返還を粘り強く訴え続けていきますと熱い口調で話されました。

私たちも北方領土が我が国固有の領土であることを認識し、一日も早く返還されるよう返還要求活動を続けなければと思いました。

年末恒例 福祉施設訪問の実施

萩市佐々並婦人会

毎年年末になると地域の役員さんは佐々並全世帯を訪問し、餅米・小豆・善意の物資をお願いにまいります。

福祉施設へ訪問のためです。つきたてお餅に小豆・砂糖を添え、リンゴ・バナナに靴下やセーター等地域すべてのご家庭からいただいた善意を品物に代えてお届けに参ります。

コロナ感染症拡大の中、訪問者のみの意向で訪問するのではなく、訪問先の施設へ必ずコンタクトを取りお互い共通理解をし合いながら40年以上継続している活動です。



プレゼントするお餅を準備

このような活動での訪問が徐々に減少しているとのことで、各施設では心から歓迎して下さいます。

「正月にはこの靴下を履いて佐々並に帰ります。」「お餅が大好きです。」「佐々並に雪は降っていますか。」など、故郷への思いが感じられ、訪問者も熱くなります。

この活動は市内・市外へも出かけます。心通い合う大切な活動をこれからも継続してまいります。

リーダーセミナー開催

山陽小野田市連合女性会

毎年度に計画されるリーダーセミナー事業は、新型コロナウイルス感染予防の影響で規模と人数を縮小して開催しました。

長引く行動制限の中でもできることが、心の安らぐ楽しいことと、「ちひろさんのコンサート」を計画しました。



ちひろさん

会場はおよそ200人の人で埋まり、ちひろさんの透き通る声で「金子みすゞ」の詩

の朗読、久しぶりに聞くピアノの生演奏・歌声、ちひろさんの諭すように語る「マザーテレサのメッセージ」などゆっくりと味わうことができました。

会員の皆さんが、「良かったね！」と穏やかな笑顔で会場を後にしたのが印象的でした。

小学校で放課後子ども教室を開催

宇部市琴芝婦人連絡協議会

水曜日の学校授業終了後、月2回の放課後子ども教室を開催しています。

担当が12月ということもあって、もう何年もゆび編みマフラーを教えています。

最初始めた時は、学校から「子どもたちがいっぱい同じマフラーをしているが、どうしたんでしょうか」と問い合わせがありました。



今では、上級生が下級生を教えるようになり自分の為だけでなく、家族の為に作る子どもたちもいます。

With コロナ の婦人会活動

パート2

全国女性団体連絡協議会 七十周年記念大会に参加して

岩国市連合婦人会 上村康子

四月二十六日、ラインキューブシブヤ（旧渋谷公会堂）にて開催された七十周年記念大会に参加しました。

記念講演での筑波大学長永田先生とサーバードイン(株)代表取締役社長の山海先生の特別対談のお話は分かりやすく、私たちの未来が明るくなる話でした。少し長生きをしようと思えました。

記念コンサートは杉良太郎さんをはじめ、なかなか見ることができない多様な出演者によるステージに、思わず口ずさみ、手を振り、本当に楽しい時間を過ごしました。



特別対談永田先生と山海先生

食品表示セミナーを引き受けて

柳井市連合婦人会

九月二十二日、柳井市文化福祉会館に於いて、コロナ禍ではありましたが、消費者庁食品表示企画課松原晃係長様をお迎えし、セミナーを開催しました。

初めにアンケートを記入した後、「原料原産地表示制度」と題し講演をお聞きしました。

食品表示法について実際の商品の表示を示し、安全な食品を確保する為の必要な情報が記載されていることを話されました。

そして一昨年発生した熊本産あさり産地偽装問題に対応された講師から、原料原産地表示の義務化について説明がありました。

最後に食品表示の見やすさについては、字が小さくて見えにくいとの意見等が出ました。

受講後再度アンケートに

記入、理解度の確認がありました。

買物の際は表示を確認して購入する事が大切である事を会員全員で再確認し、セミナーを終了しました。



講師 消費者庁 松原晃様

複十字シール運動キャンペーン

宇部市婦人会協議会

十一月六日、宇部市の一大イベントであり、三年ぶりに開催された宇部まつりの会場で、展示ブースを設置して複十字シール運動の啓発活動を行いました。



シールぼうやと一緒に啓発

て、複十字シールの啓発活動を行いました。

この会場では募金活動することは禁止されていましたが、それでも、ブースを訪れてくださった市民の皆様から25,520円の善意の募金を頂きました。

このような活動を通じて、広く皆様に知っていただくが必要だと思えました。



県知事表敬訪問
2022.8.19



リーダー研修会で
複十字パネル展
2022.11.16



秋吉台に魅せられて ～秋吉台の四季～



山焼き後 黒い大地



大地の芽吹き



ススキの波

令和2年度のリーダー研修会で『秋吉台は3億年のタイムカプセルだ!』の講演を聞いて訪れて以来、秋吉台に魅せられました。2月の山焼き、春の芽吹き、鳥や虫の声、四季の草花が咲き、初冬のススキと一年を通じていろんな表情を見せてくれます。そして今日も私の足は秋吉台へ・・・

事務局長 平野愛子



オキナグサ



ヒトリシズカ



カキラン



ナンバンキセル



ウメバチツウ



カセンソウ



ヒオウギ



タマゴ茸



リンドウ



アキヨシアザミ



ムラサキセンブリ



センブリ

加入電話・INSネットの「固定電話」をご利用のお客さまへ

固定電話のIP網への移行に便乗した勧誘にご注意ください!!



事実を誤認させるセールス・電話勧誘が発生しております。勧誘された際は、事業者名やサービス名、連絡先等をご確認ください。

右記のような勧誘は
**事実では
ありません。**

「アナログ電話が使えなくなるので、デジタル電話への切替工事が必要になります。」

- NTT東日本とNTT西日本は2024年1月1日以降、固定電話のIP網への移行に伴い電話会社内の設備切替を予定しています。
- この設備切替に便乗し、固定電話や固定電話の番号が使えなくなる、といった勧誘文句で営業をする業者に注意しましょう。

今回の切替えによるお客さま宅内の電話機の交換や回線の切替え手続き、工事は必要ございませんので、ご安心ください。

「何か変だな?」と思ったら、すぐにお電話を。

★固定電話のIP網への移行に関するご不明点はこちらへご連絡ください。
NTT西日本 問い合わせセンタ 0120-190-022 [受付時間]午前9時～午後5時(年末年始 12/29～1/3を除く)
※携帯電話からもご利用いただけます。※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

審査 22-999-1 [240314]

募金のご報告

あたたかいご支援ありがとうございました。

ウクライナ支援募金 813,019 円

人道危機で苦しむウクライナのために救援金として日本赤十字社へ寄託しました。

祝 令和4年度表彰

おめでとうございます。

山口県選奨 副会長 岡部つや子様
山口県教育委員会表彰 理事 上村康子様

交通安全は家庭から

山口県交通安全母の会



交通安全を願ってのぼり旗を作りました



長門市連合婦人会

高齢者世帯訪問



デリバリーステーションを使った炊き出し訓練 周南市勝間婦人会

防災学習会



歯舞昆布で結び昆布の作り方を学ぶ 周南市連合婦人会

昆布料理講習会



古ハガキで作った鍋敷 萩市佐々婦人会

もったいない運動



パネルディスカッションで発表する藤会長

県女団連
韓国慶尚南道交流事業



開会挨拶をする藤井副会長

山口県消費者大会

2023年度 主要事業

- 4月25日(火) 令和5年度理事総会 (カリエンテ山口)
- 5月14日(日) エンパワーメントフェスタ2023
- 10月17~18日 全女会中国ブロック会議 (松江市)
- 11月8日(水) 県連70周年記念大会 (山口県総合保健会館)
- 11月21~22日 全女会全国大会 (神奈川県横浜市)
- 8月~12月 複十字シール運動
- 9月~12月 高齢者交通安全世帯訪問

本年度も各郡市の皆様の活躍を目にすることで元気をもらいました。まだまだマスク生活が続きますが一日も早いモンスタースターコロナの終息を願いつつ、皆様のご健勝をお祈りいたします。

編集委員 岡部、藤井、伊藤

編集後記

二〇二二年もウィズコロナで、毎日コロナ感染者の数も減ることなく秋が終わりました。そんな中会員の皆様は、それぞれの地域で努力しながら行事を進められています。少しずつ行動制限も緩和され地域婦人会リーダー相互研修会も大盛況でした。

安全で良い品を、より安く、しかも環境にやさしい化粧品
ちふれ一人一個購入運動



薬用リンクル美容液

ナイアシンアミド配合
シワ改善 シミ予防 抗肌あれ
30ml 税込み 3,080円